

～JAのノウハウを活かした地域活性化に向けた取組～

長野県上田市

中間農業地域

取組主体: 有限会社信州うえだファーム

取組開始時期: 平成21年～

解消面積: 10ha(平成27年時点)

導入作物: ワイン用ぶどう、リンゴ、野菜

1. 取組のきっかけ・経緯

農家の経営面積の減少や荒廃農地の増大により、地域農業の衰退、JAの事業への影響が危惧される中、JA自らが地域農業を守る担い手としての役割を果たすため、平成12年にJA信州うえだの子会社として法人を設立した。

地域農業の中に、JAによる農業経営を位置づけ、農業振興及び地域の活性化に貢献する取組を進めている。



2. 取組内容

(1) 荒廃農地の再生・利用事業

再生後の農地で学校給食用野菜を栽培し、教育委員会及び学校給食センターと連携を図り、学校給食における地元の農産物使用割合を高めている。

荒廃果樹園においては、優良品種や新たな栽培方式の導入により、競争力の高い果樹産地を形成するとともに、新規就農者の育成や樹園地リース事業と連動を図り、新たな担い手へ農地中間管理事業などを活用して確実に継承を行っている。

2～3ha規模のワイン用ぶどうの生産団地を造成し、新規就農者及び新規参入者の育成や支援を行っている。

(2) 荒廃農地の発生抑制の取組

果樹園地においては、樹園地継承事業と連動を図り、借り手のいない樹園地のリリーフ的に借受けや継承者が見つかるまでの間の栽培管理を行うことで荒廃化を未然に防止している。

3. 今後の課題・予定など

市町村、農業委員会、JAが広く連携して、地域の土地利用の状況を把握し、農地相談や集落懇談会などを通じた農地の有効活用の相談や支援、農地中間管理事業等の活用による中核的担い手農家の規模拡大等、地域が一体となった取組に発展させていきたい。

4. 活用した補助事業等

- (国) 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金、(国) ふるさと雇用再生特別事業、
- (市) 上田市遊休荒廃農地活性化対策事業、(市) 東御市荒廃農地復旧対策事業
- 農地中間管理事業 ほか



再生前



再生後の畑



樹園地でのりんご新しい化栽培